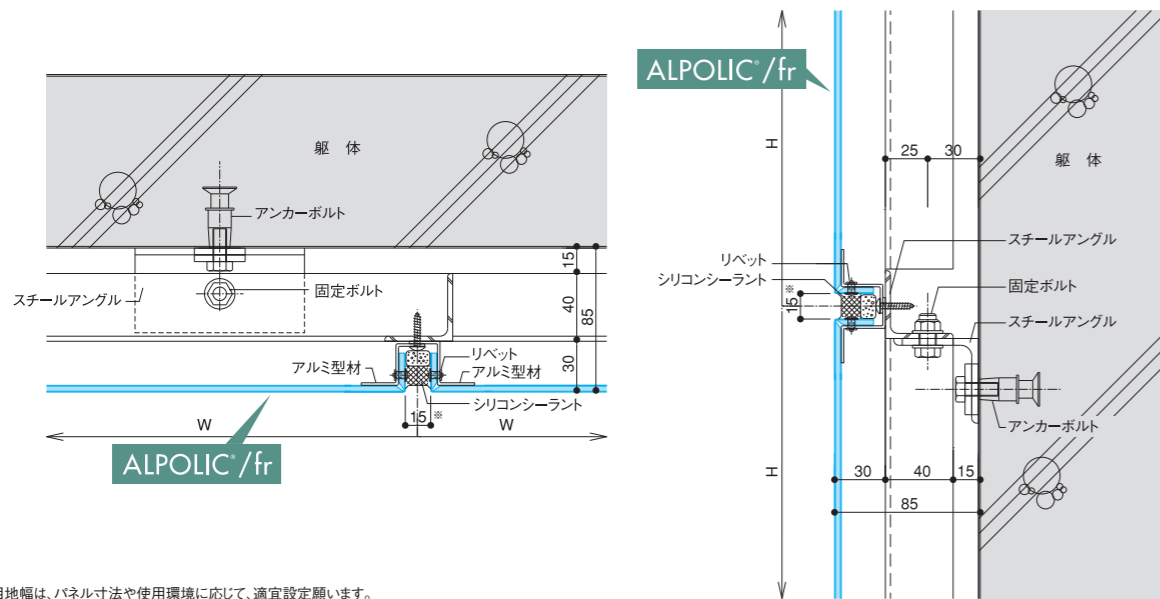


参考ディテール Reference Drawing

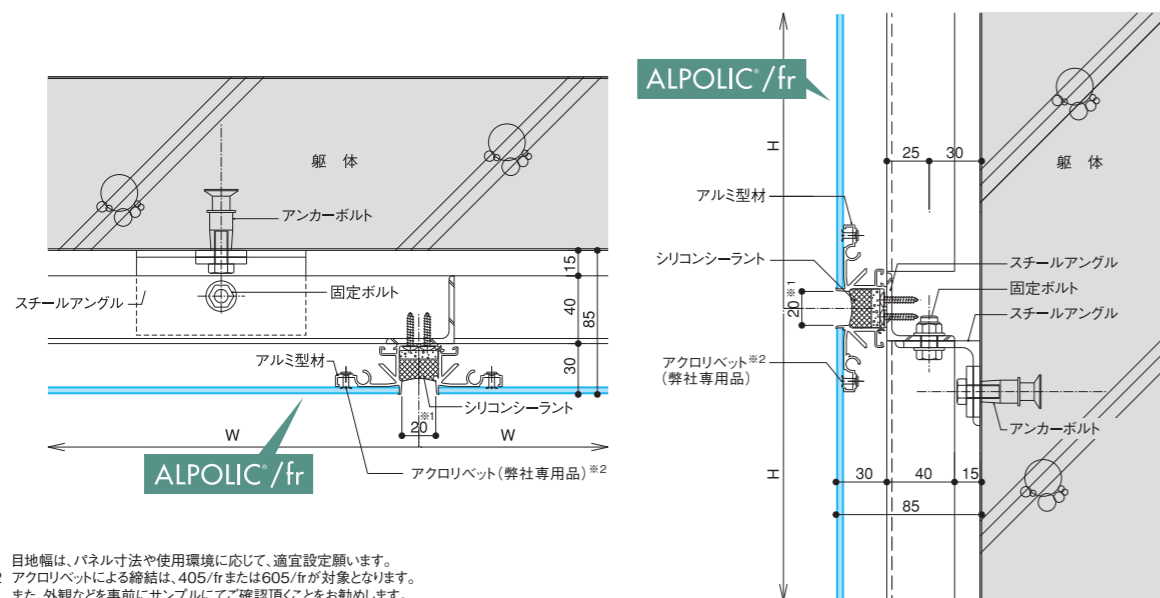
これらのディテール(アルミ型材・下地・副資材等)については一例です

1 Btype (箱曲げパネル)



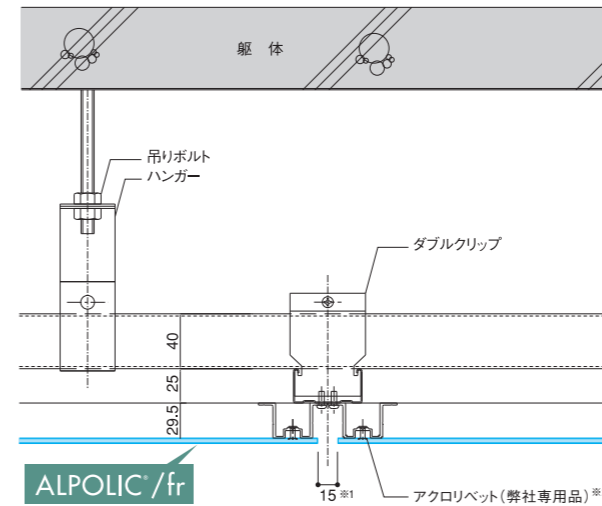
※目地幅は、パネル寸法や使用環境に応じて、適宜設定願います。

2 Edge Frame



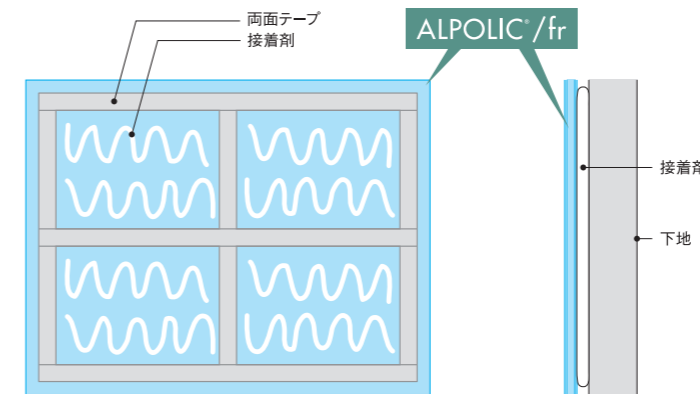
※1 目地幅は、パネル寸法や使用環境に応じて、適宜設定願います。
 ※2 アクリロリベットによる締結は、405/frまたは605/frが対象となります。また、外観などを事前にサンプルにてご確認頂くことをお勧めします。

3 天井パネル



※1 目地幅は、パネル寸法や使用環境に応じて、適宜設定願います。
 ※2 アクリロリベットによる締結は、405/frまたは605/frが対象となります。また、外観などを事前にサンプルにてご確認頂くことをお勧めします。

4 圧着貼り(内装)



■直貼り下地の例

好ましい下地 ※1	好ましくない下地
○プラスターボード	×ALC、RC面
○ケイカル板・フレキ板 ※2	×クロス面、化粧紙面
○軽量鉄骨材(コンロ廻り以外)	×凹凸のある下地

※1 下地材の選定や構造の作成は、建築基準法等の法令・法規に適合したものをお選びください。
 ※2 ケイカル板・フレキ板の場合は、市販のシーラーなどによる下地処理が必要となります。

■使用部材の例

使用テープ	使用接着剤	使用シーリング剤	
TMテープ	MPX-1	ボンド変成シリコンコーク	コニシ社
ボードテープ310	PM165	POSシール	セメダイン社
ZK-31, ZK-32	エコボンドSE-1	—	アイカ工業社

※圧着貼りをするときには基本的に厚さ4mm以下のアルポリック®を使用し、接着剤と両面テープを併用して貼り付け・圧着してください。
 4mmより厚いアルポリック®を圧着貼る際は弊社までお問い合わせください。
 両面テープは仮留めとしてお使いいただき、接着剤は弾性の接着剤をお使いください。
 なお、ご紹介した施工方法は一例であり、工法自体を保証、限定するものではありません。
 この他にも各接着剤メーカー様の出されている工法もございます。
 ※本工法による仕上げ面は、上表の副資材を使用した場合においても、多少のゆがみが認識される可能性があります。
 ※シーリング材は目地のシール処理等を目的としたもので、接着用途での使用は想定していません。

5 手摺り

